

令和5年度 延岡市立浦城小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

【学校経営ビジョン】 少人数の特性や地域のよさを生かして、一人一人に応じたきめ細かな指導、多様な体験活動や交流活動など浦城小学校ならではの教育を、計画的、継続的、組織的に展開することによって、確かな学力と豊かな心を持ち、心身ともに健やかな児童を育成する。

【評価基準 4：期待を上回る 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

項目	重点指導事項	方策・手立て ⇒ ゴールイメージ	成果と課題	自己評価	改善策等	学校関係者評価委員	
						評価	意見
確かな学力の育成	1 主体的な学習態度の育成	○ 課題設定や振り返り等の授業改善 →全児童が意欲的に学習に参加できる。	○ めあてや目的意識をもてる工夫をしたことで、さらに積極的に学習に参加する姿が見られるようになった。	3	<ul style="list-style-type: none"> 校時程に、学力の定着・向上を図る時間を設定し、全職員で取り組んでいく。 作文指導も計画的に取り組んでいく。 	4	○ 一人一台のタブレット端末を活用した活動や少人数のよさを生かした指導がよい。
	2 基礎的・基本的な学習内容の定着	○ ICT (キュビナ) の活用、がんばりタイム、家庭学習の指導 →全児童が4教科等の単元テストは90点以上。	○ ICTを活用したり、家庭学習において復習に取り組みせたりして、単元テストでは全児童が各教科平均90点以上を達成できている。				○ 家庭学習や長期休業中の課題にキュビナなどの活用を継続してほしい。
	3 書く、話す、説明する等の表現力の育成	○ 授業における表現の場の設定やロイロの活用、積極的な作品応募 →自分の考えや意見を発表したり、作文にまとめたりすることができる。	○ 表現する場を意図的に設定してきたことで、自分の考えや意見を発表したり、説明したりできるようになってきている。 ● 自分の考えや意見を作文にまとめことはできていなかった。				○ 行事等で保護者や地域の方々の前でも、しっかり話せるようになってきていることに成長を感じている。
	4 教科等における基本的な技能の習得	○ 複式解消授業の実施や教員の専門性を生かした授業 →全児童が基本的な技能を習得できる。	○ 専門性を生かしたきめ細かな指導を通して、児童一人一人が基本的な技能を習得できている。				○ 基本的な技能をしっかりと習得できるように継続してもらいたい。
豊かな心の育成	1 基本的な生活習慣の定着	○ 「浦城つ子7箇条S」の指導 →全児童が7箇条Sの内容をほぼ実践できる。	● 「時間を守ること」等について、できていないことがあり、指導が必要であった。	3	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会や全校朝会などで継続的に指導していく。 教師の指示を少なくし、自分で考え行動するように仕向けていく。 	4	○ 時間を守ることは社会人になっても大切なことである。
	2 自ら考え、実行する態度・判断力・実践力の育成	○ 清掃、ボランティア活動、委員会活動の推進 →全児童が積極的に取り組む。	● 児童はさまざまな活動に全員で取り組んでいるが、積極性が十分育っていない。				○ 教師が児童と一緒に活動してほしい。
	3 自他を大切にす る心の育成や自己 肯定感の伸長	○ 朝の会、帰りの会での振り返りや定期的な心のアンケートと教育相談の実施 →全児童が学校生活を定期的にふり振り返り、自分や友達のよさを見付けることができる。	○ アンケートや相談を行うことで、児童が自分のがんばりやよさに気付くことができた。また、友達の様子についても気付くことが増えた。				○ アンケートや教育相談を通して一人一人の実態に応じた指導や子どもたちのよさを伸ばしていけるようにしてほしい。
	4 コミュニケーション能力の育成	○ 「はらはらわくわくふるさと体験隊」への参加 ○ 他校児童との集合学習やオンラインによる遠隔授業の実施。 →全児童が、積極的に会話したり、みんなの前で発表したりできる。	○ はらわくで、代表児童として発表したり、班の友達と会話・交流したりできていた。 ○ オンライン授業や交流学習でも進んで発表したり、質問したり臆することなくできるようになった。				○ はらわくへ参加して他校の児童や講師などさまざまな人と交流することで子どもたちの成長につながっている。 ○ 学年に応じた事前指導や見届けをお願いしたい。
	5 ふるさとを愛する心の育成	○ 地域の方々との交流活動 ○ 浦城の魅力発見(総合的な学習の時間・生活科) →全児童が地域の方と積極的に交流し、浦城のよさを話したり、PRしたりできる。	○ ふれあいタイムや野菜販売を通して、地域の方と積極的に交流する姿が育ってきた。地域に貢献しようとする心が児童に育ってきた。				○ 次年度の教育計画にも位置付け、計画的に実践していく。

健やかな体の育成	1 主体的に運動に取り組む態度の育成と基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上プランの実践、体力テストの実施と活用 →全児童が総合B判定以上。 ○ 体育の運動量の拡充や、体育の集合学習の活用、ぐんぐんタイム →全児童が積極的に運動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストは全児童B判定以上であった。 ○ 他校との交流学习で刺激を受けて、より意欲的に積極的に運動に取り組むことができた。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も児童と積極的に関わり、実態を把握した上で保健の指導を計画的に取り組んでいく。 ・ 給食時計を作成し、タイムマネジメントを意識させていきたい。(遅食対策) 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストの結果において全員が全国平均以上であることは立派である。 ○ 非常時に自分の命は自分で守れることも考えた体力向上に取り組んでほしい。
	2 健康な生活習慣の定着と安全な生活を営む態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ すくすくタイム(保健指導の時間)、ぶくぶくタイム(フッ化物洗口) →全児童が基本的な生活習慣を身に付けることができる。 ○ 保護者や地域と連携した避難訓練等の実施 →危険に備えて、すばやく安全に避難することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣を見直す機会がもてて、以前より望まし生活習慣ができつつある。 ○ 各種の避難訓練(地震・津波、引き渡し、火災、不審者対応)ですばやく安全に避難できた。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した避難訓練等には引き続き取り組んでいけるよう協力していきたい。
	3 望ましい食習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○ ランチルームによる給食指導 →給食指導で残滓0の日90%。 ○ 浦城っ子農園による栽培活動や地産地消活動の推進 →野菜や食に関心をもって大切に育てたり、作ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的な給食指導で、遅食や残滓^{ゼロ}が、ほぼ達成できた。 ○ 栽培活動や調理実習を通して、食に関する関心が高まり、野菜を大事に作ったり育てたりしていた。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ 育てた野菜での調理実習などの実りの多いものであった。
信頼される学校	1 地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の意見を取り入れた学校経営と地域と一体となった活動の推進 →学校運営協議会での協議や地域学校協働活動に積極的に取り組む。 ○ 地域への情報発信、情報収集 →学校便りやHPで学校の様子をタイミングよく発信したり、地域の方と積極的にあいさつしたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年3回の学校運営協議会や、野菜販売やスポーツフェスタ、稲の脱穀ともちつき、避難訓練(火災)等の地域学校協働活動を実施することができた。 ○ 学校だよりやHPに加えて、テレビや新聞などでも情報発信できた。地域の方とのあいさつなど全職員がよくできていた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の取組をベースにして、より充実したものになるように次年度の学校運営協議会や地域学校協働活動を進めていきたい。 ・ 今後も、保護者と情報交換を密にしながら進めていく。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会で取り組んだ内容について、次年度も取り組んでいけるように地域も協力していきたい。 ○ 子どもたちの発達段階に配慮した計画立案をしてほしい。
	2 PTA、家庭教育学級との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ PTAとのきめ細かな連携 →学校評価から子どもを安心して預けられると回答100% ○ 家庭教育学級の充実や学校保健委員会のテーマの実践 →よりよい生活リズムの定着や家庭教育の在り方について一緒に考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃の保護者との連携から、安心して学校に預けていただいていた。 ○ 保護者の参加により、よりよい生活リズムについて考える機会を作ることができた。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ 少ない会員数でも充実した取組を工夫しながら、子どもたちの健やかな成長につながるようきめ細かな連携を図ってほしい。
	3 コンプライアンスの遵守	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンプライアンスの重点事項について日常的にチェック →交通事故や体罰等^{ゼロ} 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員による交通違反、交通事故、体罰などは一切なかった。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ コンプライアンス遵守については今後も継続して行ってほしい。
	4 働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務改善や時間を意識した働き方へ移行 →月時間外業務時間は全員45時間以内 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度前半は時間外業務が45時間を超えることがあったが、11月以降は、45時間以内に収まるが多くなり、働き方が改善している。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の効率化、行事や文書の精選など改革を進めていく。